



6月4日(日)は運動会です。5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5類に引き下げられたこともあり、今年度は入場者制限を行いません。しかし、コロナが完全に収束したわけではないので、子どもたちの団体競技、団体演技、個人走・リレーを中心に行い、午前中のみ開催とさせていただきます。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

5月15日から始まった運動会練習では、子どもたちは元気よく、真剣に取り組んでいました。当日できるだけ多くの輝く笑顔をお見せ出来ればと思っています。もしかして、緊張して練習の成果を出せないこともあるかも知れませんが、毎日一生懸命取り組んだ子どもたちを温かく見守って頂けたらと思います。そして、当日は頑張った子ども達をいっぱい褒めてあげてください。

みんなが主役！最高の運動会を！

今年もめあては、

「全力を出し切って みんなで協力し合って 絆を深めよう」です。

練習が始まった頃は、下を向いたり、砂をいじったりして、指導している側の注意が中々子どもたちに届きませんでした。

でも、毎日練習しているうちに少しずつ、良い演技になってきました。運動会当日、どんな演技を見せてくれるか、楽しみにしててください。子どもたちの笑顔をしっかり見て下さい。



6年生



5年生



4年生



(お願い) 運動会終了後の
電話対応は、午後4時50分
以降、音声ガイダンスによる
対応とさせていただきます。

《1年公園めぐり(5/10)》

青空の下、中央公園、ふれあい公園(ロケット公園)を巡りました。道中、「この公園知っている！来たことある！」「こんな所に公園あるって知らなかった！」と友達とお話しながら歩いていきました。

ふれあい公園では、すべり台をしたり、鬼ごっこをしたりして遊びました。

へとへとになって帰ってきた後の給食は、つも以上に美味しく、もりもりべました。往復1間の道のりをみな頑張って歩きました。



《交通安全教室(5/17)》



夏を思わせる日差しの中、2、3時間目を使って、1年生と3年生対象の交通安全教室が開催されました。

貝塚警察の方や市役所の方が、運動場に設置した信号機や、白線で書かれた横断歩道を使って、自転車の乗り方や横断歩道の渡り方について、一人ひとり、教えてくれました。登下校に慣れてきた子どもたちにとっては、交通ルールを守る大切さを再認識する良い機会になりました。



《集団下校訓練(5/24)》

大雨のシーズン前に、集団下校訓練を行いました。地震、台風等でいつ急な下校が必要となっても、子どもたちが慌てないように、訓練を行いました。

下校色別のグループと「なかよし」に行くグループに分かれ、先生が付き添って下校しました。

1年生は初めての経験でしたが、上級生について、一生懸命訓練を行い、戸惑うことなく下校することが出来ました。



《ヤングケアラーとは…?》

「ヤングケアラー」という言葉を最近よく聞くようになりましたが、皆さんはご存知ですか？「ヤングケアラー」とは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケアの責任を子どもが引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことを言います。



厚生労働省と文部科学省が令和2年12月から令和3年1月に行った実態調査の結果、中学生のおよそ17人に1人が「ヤングケアラー」にあたることがわかりました。驚いたことに、自分の状況について、「誰かに相談するほどの悩みではないから」と考えて、相談した経験がない生徒が6割を超えていました。

わたしたちの身近にも、「ヤングケアラー」であることを自覚せずに暮らしている子どもたちがいるかも知れません。

「ヤングケアラー」について正しく理解し、誰かに相談したり助けを求めたりしてもいい状況であるということを知ることが大切です。学校でも、子どもたちから発せられるSOSのサインを見落とさないように注意を払っていきます。

お子さんのことで、気になることがあったときの校内の相談窓口を紹介します。

相談窓口

- 特別支援教育関係の窓口 千畑教諭
- ハラスメント関係の窓口 校長・教頭・中村結養護教諭
- ※ 窓口担当に直接相談しにくいときは、まずは、担任など保護者の皆様が信頼できる教職員に、相談して下さい。校内で連携をとります。
- ※ 第三中学校のスクールカウンセラーの九十九(つくも)綾子先生にも相談できます。予約の調整をしますので、ご希望の方は、神野までご連絡下さい。(相談日は金曜日です)

東山の笑顔満開!!!

登校の見守りのため、校区内を巡視していると子どもたちが、道端で車座になって何か話している様子。近くまで行って「早く、学校に行かないと、遅刻になるよ。」と声を掛けると「校長先生、ダンゴムシ。」と小さな手のひらに、いっぱいダンゴムシ。

子どもの好奇心は、時間も場所も関係なしです。

